

J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



感動と涙のソチオリンピックも終わり、季節はいよいよ春めいてきました。何となく気分もウキウキしませんか？おおきく窓を開けたいところですが、花粉やPM2.5も気になるし… さあて、今月のメッセージは、杉本利嗣先生からいただきました。

世話人からのメッセージ

「PTH, ビタミンD研究に魅せられて」

島根大学医学部内科学講座内科学第一
杉本 利嗣 先生

私は内分泌代謝内科学の立場から、カルシウム・骨代謝領域の研究を進めてきており、研究対象の中心となるホルモンはPTHと活性型ビタミンDであります。実際、私の研究の第一歩は新たに確立したラット単離骨還流系を用いて、PTHの骨に対する作用発現におけるビタミンDの重要性を示したことです。そして腎領域との関わりは、私の恩師である藤田拓男名誉教授(当時神戸大学医学部第三内科教授)のご推薦を受け、米国ワシントン大学(セントルイス)renal divisionへの留学がきっかけでした。当時このdivisionのボスであるEduardo Slatopolsky教授は、透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対する静注ビタミンDパルス療法の有効性を示し、この領域の治療に新たな局面を切り開く成果であると注目されていました。さらにこの臨床結果は活性型ビタミンDがCaを介さない直接のPTH分泌抑制作用を有する可能性を強く示唆するものでした。そこで私に与えられたテーマは活性型ビタミンDなどによるPTH分泌調節とその機序であり、ウシ副甲状腺細胞培養系を確立し、活性型ビタミンDのPTH分泌抑制作用

を示すとともにその機序に関する研究などをさせていただきました。帰国後も透析医療を専門とする矢野彰三先生らとともに原発性そして腎不全に伴う二次性副甲状腺機能亢進症における副甲状腺細胞増殖、PTH分泌とビタミンD受容体、カルシウム感受受容体発現、そしてこれらの遺伝子多型との関係などについて研究し、腎不全、ビタミンD、PTHは常に興味をそそられる領域であります。その後も私自身の臨床と研究の軸足は内分泌代謝、骨代謝にあるため、腎臓、透析領域は専門とはいえませんが、骨、副甲状腺とともに腎臓が一番気になる臓器です。

近年ビタミンDの多面的作用が注目され、また臓器連関の観点からもビタミンDは非常に魅力的なホルモンであると痛感しています。今回のJ-DAVID試験により、活性型ビタミンDの心血管イベント発症抑制効果、さらには長寿をもたらす効果、すなわち健康長寿ホルモンであることが立証されることを切に願っています。



最近の文献から

CKDにおけるコレカルシフェロールのアルブミン尿低下効果: 前向き比較試験

The effect of cholecalciferol for lowering albuminuria in chronic kidney disease: a prospective controlled study

Molina P, et al. Nephrol Dial Transplant 29: 97-109, 2014

【ポイント】対象はアルブミン尿を呈する未透析CKD患者101人。通常のRCTとは異なり、コレカルシフェロール投与群(毎日666 IU経口投与)群は、血清25(OH)D低値かつPTHの高い症例(N=51)で、非投与の比較対照群はビタミンDレベルに関わらずPTHの高くない症例とした。6か月後のアルブミン尿は投与群で減少したが、対照群では変化がなかった。

【詳しくは】<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/23975842>

最新進捗状況

進捗状況を報告いたします。(2月26日現在)

症例報告書回収状況報告

	観察開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目
前月	976	932	923	834	796	750	647	426	291	203
今月 (前月比)	976	932 (-)	923 (-)	834 (-)	796 (-)	750 (-)	649 (+2)	455 (+29)	301 (+9)	220 (+17)

内容確認書(クエリー)回収状況報告

	開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目	コンプライアンス	中止時	脱落基準	SAE (イベント含む)	総数
発行	1136	772	615	635	599	515	444	232	165	107	1225	148	23	162	6778
回収	1136	763	601	617	558	436	348	175	101	55	1148	139	23	132	6232
回収率 (%)	100.0	98.8	97.7	97.2	93.2	84.7	78.4	75.4	61.2	51.4	93.7	93.9	100.0	81.5	91.9

J-DAVID事務局からのお知らせ



共同研究費(2013年分)のご請求を締め切りました

「共同研究費 振込請求書(2013年分)」のご請求は2月末日をもって締め切りました。ご請求書に基づき、共同研究費を3月末までにご指定の口座にお振り込みいたします。

J-DAVIDデータセンターからのお知らせ



担当者の異動があればご連絡ください

年度末から年度初めにかけて、J-DAVIDご担当の先生が退職される、あるいは担当を外れる等何らかの異動が発生した場合は、データセンターまでその旨お知らせください。

4月1日より消費税増税につきレターパックの料金が増額になります。

2014年4月1日より消費税が8%になるのに伴い、レターパックの料金が値上がりします。レターパックライトが350円から360円へ、レターパックプラスが500円から510円に変更になりますのでご注意ください。

3月中に10円切手10枚をお送りいたします。4月1日以降、料金が不足しているレターパックをご使用される場合は、切手貼付の上ご投函ください。お手数をおかけいたしますがご対応の程宜しく願いいたします。



編集・発行：J-DAVID研究会事務局
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分沁病態内科学 内
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808
J-DAVID試験データセンター
電話 06-6645-3443 FAX 06-6646-3588

J-DAVIDのホームページ
<http://j-david.info/>